

1. 実施機関

学校法人慶應義塾

2. 企画名

医学・医療の学際的修学、半学半教

3. 総合評価コメント

受講生の募集・一次選抜に関しては、積極的な広報活動を進め、初年度は定員の4倍以上、2年度目は定員の8倍もの応募者を集め、外国籍の高校生も含むなど、多様な受講生を集めたことは評価できる。また、育成プログラムに関しては、関連部局と協力し、再生医療からロボット工学まで広範な研究課題を提供すると同時に、外部機関の協力のもと、歯学、獣医学など自学では対象とできない研究分野についても学びの場を提供していることは良い。受講生の募集など全ての活動においてOB・OG組織が参加してサポートするなど、修了生との良好な関係が維持されており、修了生の追跡調査についてもしっかりと計画されている点も良い。さらに、国際学会での研究発表、日本学生科学賞全国大会での上位入賞、科学オリンピックへの出場など、受講生が創出する成果についても評価できる。

しかしながら、本事業の運営が実施主担当者個人に大きく依存しているのは懸念される。全学体制のもと、更なる学内体制の整備と事務局の専任体制の確立を期待する。また、ルーブリックを用いた受講生評価において、学内外の評価委員からの意見を受けて改善を重ねているものの、ポートフォリオの開発を含め、評価結果の受講生へのフィードバックの現状が見えないのは残念である。